

第4回 Aging Clocks研究会



主催 公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター

お申込みフォーム

2025年
11月29日(土)
15:00-18:00



<会場>

大手町ファースト
スクエアカンファレンス

<https://1ofsc.jp/#access>

<オンライン>

ZOOM配信

※オンラインチケット購入者に視聴用リンクを送付いたします



お申込みフォーム

<https://agingclocks2025.peatix.com>



Aging Clocks研究会とは

本研究会は、生物学的老化に影響する因子の解明と、老化の進行を制御する介入方法の探索および社会実装を目的として発足いたしました。Aging Clocks の概念を通じて、人生の早い段階から老化のペースを認識し、適切な介入を行うことができれば、人々の健康寿命は大きく延伸され、認知症や糖尿病など加齢性疾患の発症を抑制する道筋が拓かれると考えております。

第4回研究会について

「老化の可観測化—多階層オミクス統合—」

高齢社会の進展とともに加齢や老化研究の重要性は一層高まっており、健康寿命の延伸に向けてエピジェネティック解析や生物学的年齢評価の果たす役割は極めて大きなものとなっております。本会では、エピゲノムと微生物叢を含む多階層オミクスを統合することで、表現型年齢の設計原理を探究し、その成果を社会へ還元することを目指します。

当日運営 株式会社Rhelixa内 第4回Aging Clocks研究会運営事務局
Mail:agingclocks2025@rhelixa.com

プログラム

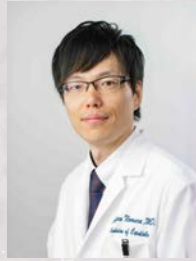
15:00

開会の挨拶

Aging Clocks研究会理事長 吉川 敏一 先生
(京都府立医科大学名誉教授・元学長、
公益財団法人レイ・パストゥール医学研究センター理事長)

15:10

基調講演①



「循環器分野における様々なモダリティによる年齢推定とその臨床応用」

金沢大学教授 野村 章洋 先生

座長: 近畿大学アンチエイジングセンター教授 山田 秀和 先生

15:50

基調講演②



「ヘルシーエイジングとAging Clock」

京都府立医科大学教授 内藤 裕二 先生

座長: レイ・パストゥール医学研究センター特任研究員
高島 正広 先生

16:40

休憩・企業ピッチ

17:10

パネルディスカッション

「老化指標の合流点-多様な測定から“使える基準”へ」

パネリスト 東北大学助教 河村 拓史 先生
東京都健康長寿医療センター研究員 柳井 修一 先生

モデレーター 株式会社Rhelixa代表取締役社長 仲木 竜 先生

17:50

閉会の挨拶

Aging Clocks研究会副理事長 山田 秀和 先生